

1975年 - 2024年

東栄町立東栄中学校 50周年記念誌

Toei junior high school 50th Anniversary



50周年によせて

東栄町長 村上孝治

東栄中学校が開校50周年の大きな節目を迎えますことを、在校生の皆さん、校長先生をはじめとする諸先生、同窓の皆さん、また保護者をはじめとする地域の皆様とともに喜び申し上げます。

さて、昭和50年に3つの中学校（旧東栄中・三輪中・振草中）を統合し、本郷宮平の高台に現校舎が建って半世紀を迎えました。この校舎からは多くの子供たちが巣立ち、社会の各分野で活躍され、その功績を見聞きするたびに誇らしく、また、心強く感じているところであります。

東栄町は少子高齢化により、生徒の数は年々減少傾向にあります。今後も子どもたちが充実した学校生活を送り、豊かな人間性を育ていけるよう良好な教育環境を整え、優しいふるさと「とうえい」を保ってまいりたいと思います。

これを契機として、東栄中学校が益々発展していくことを祈念するとともに、地域の皆様から信頼される教育を推進し、充実した教育活動が展開できるよう、関係者の皆様には一層のお力添えと、変わらぬご支援をお願い申し上げ、お祝いのご挨拶といたします。



東栄町教育長 岡田 守

「雄峰 明神山は・・・」

雄歩道をのぼり、正門を過ぎると正面に見える雄峰明神山、私はその景色が昔から大好きです。その雄姿は私を力強く、そしてあたたかく包み込んでくれます。

昭和50年4月、東栄町内の3中学校（東栄中、振草中、三輪中）が統合し、新しい東栄中学校が誕生しました。開校当初は、体育館も校歌もなく、開校式や入学式、卒業式は旧東栄中学校講堂で举行するような状態でした。そこから50年、多くの方々の力によって、東栄中教育の礎が築かれ、それらを継承・発展させながら立派な伝統を創り上げてきました。東栄中学校の校訓である「自ら学び 心豊かに たくましく」に込められた思いは、2600人余になる同窓生の生きる指針であり、東栄中学校で学んだ自信と誇りになっていると信じています。50周年を迎えた今、生徒数は減少しますが、母校東栄中学校がますます発展していくことを願ってやみません。今日も、明神山は東中生を見守り、今まで同様、活躍を楽しみにしています。

東栄中学校長 夏目貴司

東栄中学校の創立50周年を、関係の多くの皆さん方にお祝いいただけることを心から嬉しく思います。同時に、このような歴史の節目に立ち会えることを、長年、東栄町に勤務させていただく教職員としてたいへん誇らしく思います。



初めての東栄中勤務は、第8代百々校長先生のもとでした。先生が提唱されていた言葉が、今でも私の心に残っています。めぐり逢いを意味する『邂逅（かいこう）』の言葉どおり、当時の東栄中での様々な人々との出会いが、若く未熟であった自分を育ててくれたことに、感謝の思いをもち続けています。諸先輩方、保護者の皆さん方、地域の方々、そして何より多くの子どもたちと出会い、授業、部活動など諸活動の中で真剣に向き合って、仲間づくり、学校づくりの上で、本当に大切なことが学べました。

時はめぐり、新世代の「チーム東中」躍動の場に立ち会える喜びを噛みしめつつ、益々の本校の発展を願い、すてきな「出会い・ふれ合い・学び愛」に努めていきたいと思っています。



東栄中学校PTA会長 伊藤明百

東栄中学校創立50周年、おめでとうございます。

滞りなく記念式典が挙行されたことまずもって関係者各位、実行委員会の皆様、本当にご尽力いただきありがとうございます。また、このような形で記念誌が発行されたことについて東栄中学校卒業生として大変嬉しく思います。私自身この東栄中学校

の9期卒業生であり、43年前満開の桜の下をくぐりながら希望に胸を膨らませ入学したことを覚えています。一方で3年前、息子の入学時に久々に訪れたこの中学校を見て、変わっていません。部活動の大会では、先輩たちから受け継いできた「東中魂」をきちんと継承していると思いました。最後にこの東栄中学校創立50周年にPTA会長として関わったことを大変光栄に思います。50周年を機に東栄中学校の益々の発展と皆様のご健康・ご多幸を祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。

50年のあゆみ



1975.4 - 1976.3

伊藤 元 校長先生時代

現在の東栄中学校新校舎になって最初の卒業生は、1・2年生の期間を統合前「東栄・三輪・振草」の各中学校で過ごし、3年生を新たな校舎で過ごしました。



1976.4 - 1979.3

伊藤 喜助 校長先生時代

1年生の遠足では、明神山に登っていました。また、東栄荘合宿や大洞山での植樹作業も行われていました。



1979.4 - 1981.3

伊藤 重一 校長先生時代

部活動のほかに、水曜日にクラブ活動（通称水曜クラブ）も行われていました。読書・百人一首・パズル・将棋等多岐にわたるクラブ活動がありました。

1981.4 - 1984.3

前崎 秀夫 校長先生時代

2年時には、振草地区にあった「振草自然科学センター」へ合宿に行っていました。キャンプファイヤーや陶芸などの体験学習も行っていました。



振草自然
科学センター





1984.4 - 1986.3

村松 幸太郎 校長先生時代

留学生との交流会が行われました。修学旅行は、東京・日光・鎌倉・箱根の行程で3泊4日で行われていました。

1986.4 - 1989.3

佐々木 文雄 校長先生時代

早朝マラソンが行われていました。英語の学習用に機材を使用する授業も行われていました。教科によっていろいろな学び方をしていました。



1989.4 - 1994.3

高木 昭人 校長先生時代

野球・テニス・バスケットボール・剣道・バレーボール・卓球・弓道の各部と長距離走部が活躍しました。代表による海外派遣が始まりました。

1994.4 - 1997.3

百々 章央 校長先生時代

3年生全員が海外渡航する「町海外派遣事業」がスタート。初回は48名がカナダのバンクーバー地区で研修を行いました。





1997.4 - 2000.3

滝川 信吉 校長先生時代

体育大会では、クラス対抗の様々な競技が行われ、盛り上がりました。今も昔も、東栄中の団結は受け継がれています。

2000.4 - 2004.3

金指 旦夫 校長先生時代

文化祭では、クラスごとの合唱発表、バンドの演奏などが行われました。また毎年、全校での製作物が見られるのも東栄中学校ならではの伝統です。



2004.4 - 2008.3

原田 忠 校長先生時代

創立30周年を迎え、体育大会では記念の人文字が描かれました。愛知万博のボリビア・デーにも参加しました。

2008.4 - 2012.3

平松 博久 校長先生時代

毎年夏の大会が終わると、全員が陸上・駅伝部に所属。秋には、名倉地区で「北設楽郡駅伝大会」が開催され、男女団体・混成など各種目で力を発揮しました。





2012.4 - 2017.3

石田 雄吉 校長先生時代

中学校の敷地内に共同調理場が作られました。温かく、メニューが豊富になり、東中生の誰もが給食大好きになりました。

2017.4 - 2022.3

岡田 守 校長先生時代

GIGAスクール構想がスタートし、一人1台のタブレットを授業で使うようになりました。生徒の合言葉は「本気・元気・やる気・根気」の4つの木（東中の森）です。



2022.4 -

夏目 貴司 校長先生時代

「出会い・ふれ合い・学び愛」の心で、地域の方々とともに、東中魂を未来へ繋げます。
「チーム東中」を合言葉に盛り上がっています。

生徒数の変遷



一 白絹のもや 晴れわたり 東山 緑 さやけし
学舎は 朝日に映えて 若人の 胸は高鳴る
命ひしと 守り 鍛えたる 強き からだ
いざ 励まん 理想の灯 高く掲げて

二 梢吹く 風 すずやかに 歴史秘め 遺跡 鎮まる
その昔の 思いをうけて ふるさとの 明日を開かん
真理深く 究め めざしゆく 高き 知性
いざ 試さん 次代を担う 若き力を

三 秀でたる 嶺むらさきに 夕映えの 空に際立つ
その影を 映して悠久に 大千瀬の 流れはやまず
誇り高く もちて 道聴く 直き 心
いざ 進まん 未来に向かう 歩み雄々しく

雄歩道

2024年11月1日発行

発行：東栄町教育委員会

制作：(一社)東栄町観光まちづくり協会